

豊岡市立小中学校

適正規模・適正配置計画（案）

（2022年度～2031年度）

2021年11月

豊岡市教育委員会

目次

はじめに	1
第1章 計画の基本事項	2
1 計画の考え方	2
2 計画の目的	2
3 計画の位置付け	2
4 計画の期間	3
5 計画の評価と見直し	3
6 計画の進め方	3
第2章 豊岡市の小中学校をめぐる現状と課題	4
1 豊岡市の人口と将来推計	4
2 学校別児童生徒数の今後の見込み	6
3 学校規模の現状と今後の見込み	8
4 学校施設の現状	10
5 学校の小規模化による課題	11
第3章 豊岡市のめざす教育	13
第4章 豊岡市における小中学校の適正規模・適正配置のあり方	14
1 小中学校の適正規模の考え方	14
2 小中学校の適正配置の考え方	17
第5章 学校再編の考え方	18
1 学校再編の基本方針	18
2 学校再編の優先順位	20
3 学校の配置	20
4 協議の進め方	21
第6章 学校再編のスケジュールと具体的な枠組み	22
1 再編スケジュール	22
2 個別の再編枠組み（詳細）	23
第7章 学校再編にあたって配慮すべき事項への対応	33
第8章 特色ある学校づくり（協働による学校づくり）	35

はじめに

近年の急激な少子化により、複式学級を有する小学校の増加や、同級生がわずか数名という学年も生じてきており、集団での活動に支障が生じる、多様な考えに触れられる機会が減るなど、子どもたちの教育に様々な影響が表れてきています。市立小学校の児童数をみると、15年前〔2006年度（平成18年度）※¹〕は5,311人であったのに対し、2020年度（令和2年度）には4,180人と1,131人減少しています。また、複式学級※²のある小学校数をみると、15年前の4校から、2020年度には市立小学校29校中※³、9校となり、約3割の学校が複式学級を有しています。

こうした状況を踏まえ、2019年度に教育懇談会を市内7会場で開催し、少子化による教育課題と複式学級の状況についての意見交換を行いました。参加された保護者からは、子どもの同級生が少ないことや複式学級についての不安の声、「学校統合を希望するが、地域には要望としてあげにくい。市主導で進めてもらえないか」という意見が寄せられました。

一方、PTAや区長会が中心となって合意形成を図り、市へ学校統合についての要望書を提出される地区も出てきました。

市教育委員会として市全体のことを考えると、声が上がってきた地区だけの個別の対応ではなく、様々な事情等から声が上げられないという地域についても対応を考える必要があることから、2020年2月に豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会（以下、「審議会」という。）を設置し、保護者や地域の方、学校関係者等の様々な立場の方に、豊岡市における小中学校のあり方について検討していただくこととしました。

審議会では、豊岡市における小中学校の規模と配置に関する基本的な考え方と、それに向けての具体的な方策について、約1年間、計7回に渡り審議され、2021年2月に市教育委員会に答申をいただきました。

この答申では、「小規模校の良さは認めるものの、複式学級が生じるほどの極小規模になると課題の方が大きい」「子どもたちには多様な意見に触れ、いろいろな体験をしてほしい。そのためにはある程度の集団規模が必要である」として、市として学校再編を進めていくべきとの提言がなされています。

この答申に基づき、第4次とよおか教育プランに掲げる『ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成』に向けて、子どもたちにとってより良い教育環境とするための集団規模の確保と教育内容のさらなる充実を目的とし、「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画（以下、「本計画」という。）」を策定しました。

※1 2006年度（平成18年度）は、市内に小学校が30校あり、2012年度に閉校となった西気小学校が含まれる。（2006年度時点では西気小学校に複式学級は無い）

※2 学級編制基準上での複式学級

※3 2021年4月に、奈佐小学校と五荘小学校、港東小学校と港西小学校が統合したため、市立の小学校数は27校、複式学級を有する学校は6校となっています。

第1章 計画の基本事項

1 計画の考え方

本計画は、審議会からの答申に基づき、「次代を担う豊岡の子どもたちにとって、より良い教育環境とするために、学校はどうあるべきか」を第一に、学校規模と学校配置の視点から策定したものです。

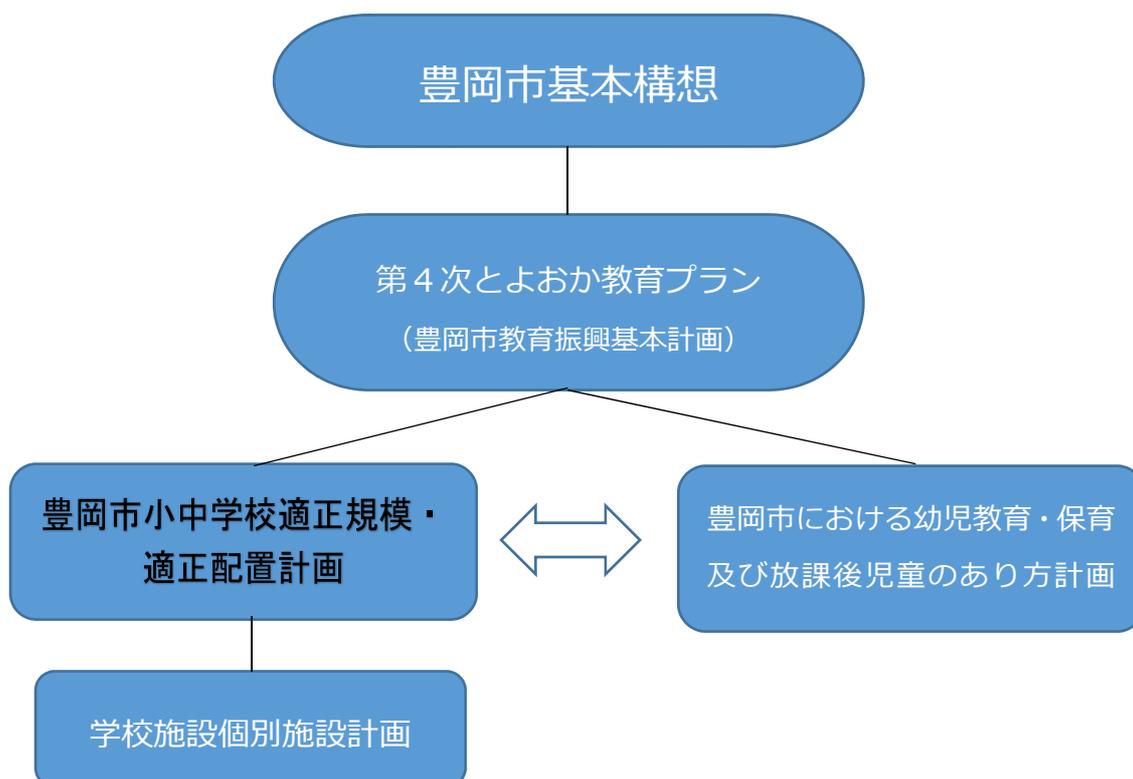
2 計画の目的

本計画は、答申内容を具体化するための手法や手段及びそれらに関わる見解等を示し、次の事項を中心に中長期的な見通しを立てることを目的としています。

- (1) 学校規模の適正化（学校の小規模化への対応）
- (2) 学校の適正配置
- (3) 再編後の学校教育のあり方の検討（教育内容の充実、特色のある学校づくり）

3 計画の位置付け

- (1) 豊岡市基本構想及び第4次とよおか教育プランに基づいた計画とします。
- (2) 学校施設個別施設計画の推進にあたっては、学校再編後の姿を考慮しながら着手の優先順位等を検討します。
- (3) 豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画とも整合を図りながら進めます。



4 計画の期間

(1) 計画期間

本計画の期間は、2022年度から2031年度までの10年間とします。

ただし、10～15年後にも複式学級を有する小学校が生じる見込みであることから、10年後以降の姿も見据えた計画とします。



5 計画の評価と見直し

(1) 計画の評価

教育委員会会議で計画の進捗状況等を報告し、評価を行います。

(2) 計画の見直し

教育委員会会議の評価等により、見直しが必要と認められた場合、適宜改正するものとします。

6 計画の進め方

計画の推進にあたっては、保護者や地域住民と十分な合意形成を図りながら進めるものとします。

第2章 豊岡市の小中学校をめぐる現状と課題

1 豊岡市の人口と将来推計

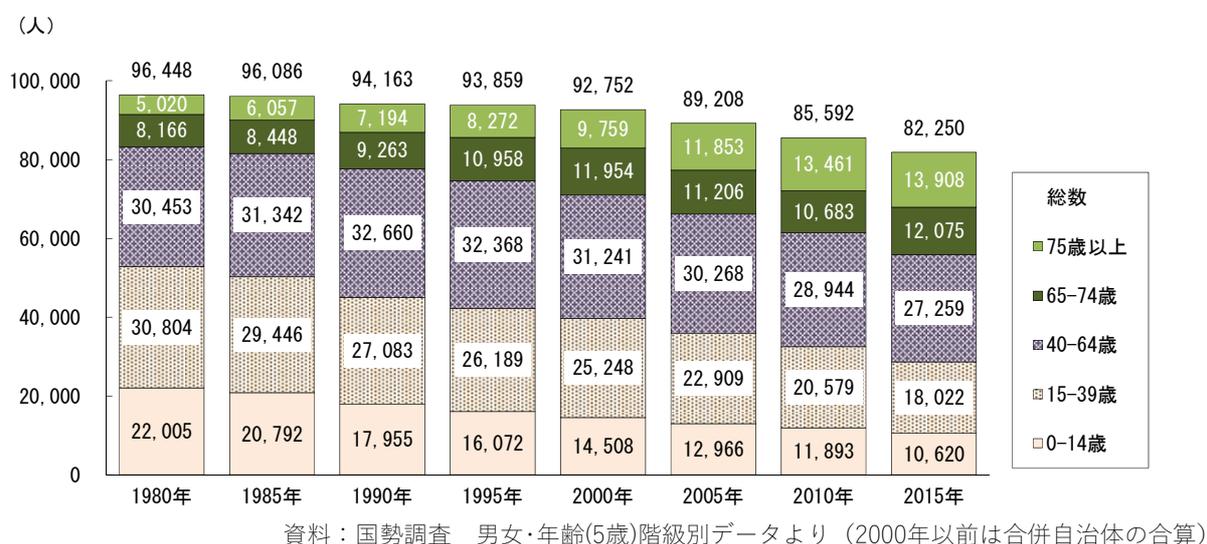
本市の総人口は近年減少が続いており、2015年の国勢調査では82,250人となっています。年齢別にみると、特に39歳以下の若年人口が減少しています。(図1)

こうした人口減少にともない、本市の14歳以下人口についても減少が続いており、1980年から2015年までの35年間に、半数以下(48.3%)に減少しています。(図2)

また、市独自の将来推計によると、2021年から2040年までの20年間で、小学生は54.7%、中学生は55.7%にまで減少するものと見込んでいます。(図3)

■豊岡市の人口の推移

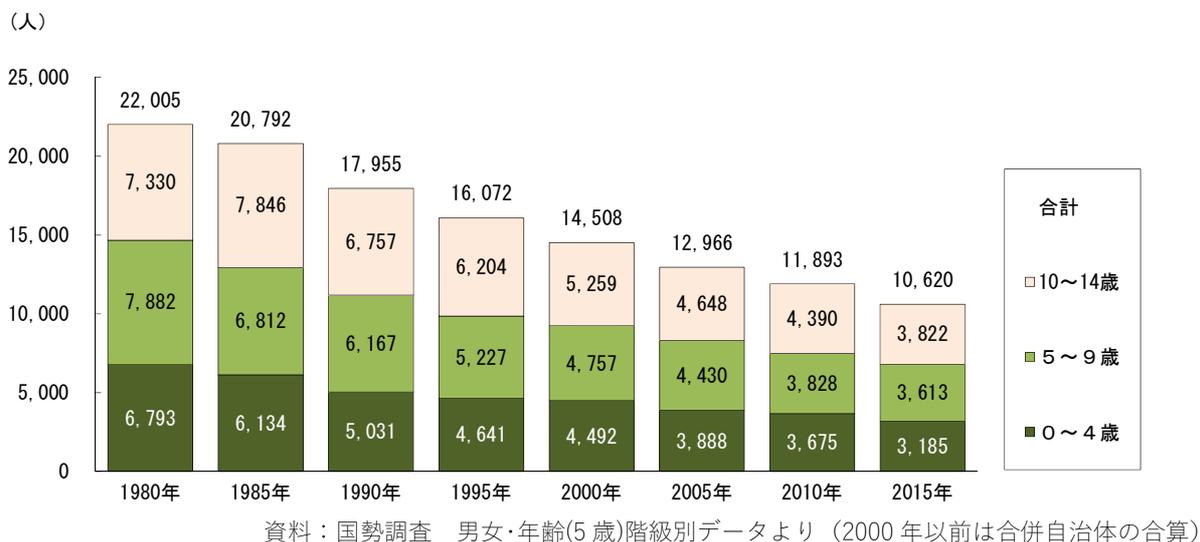
【図1】



※「総数」には年齢不詳を含むため、合計が合わない場合があります。

■豊岡市の14歳以下人口の推移

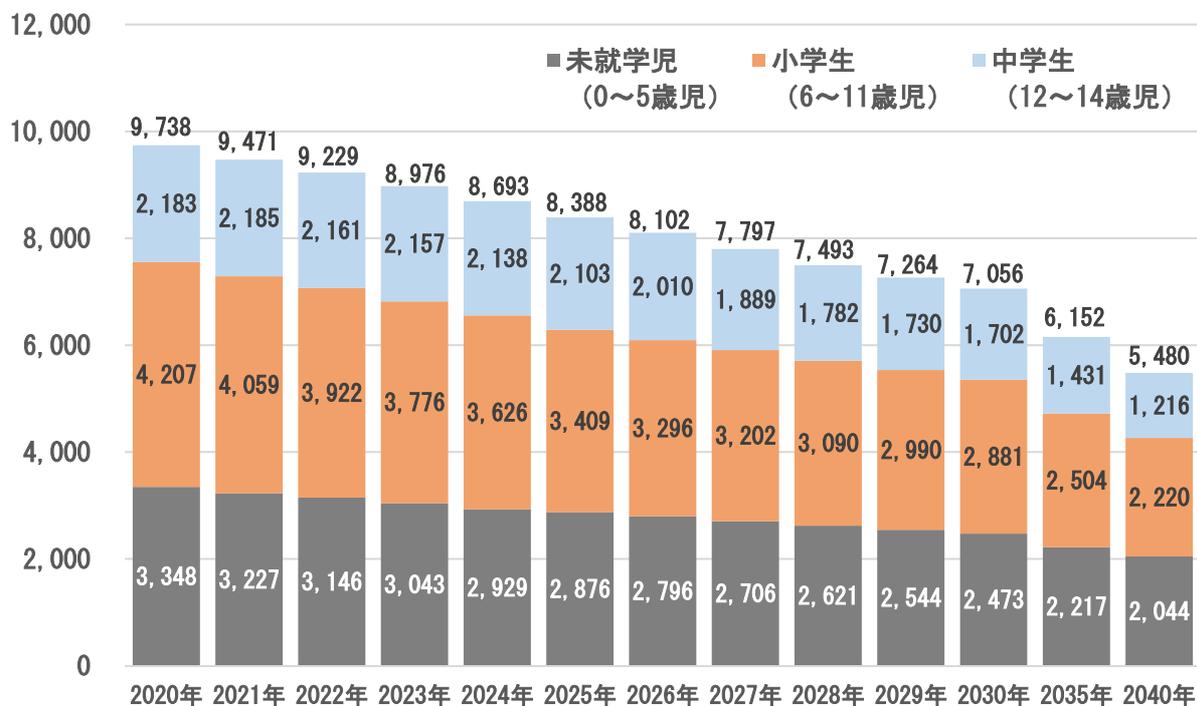
【図2】



■豊岡市の14歳以下人口の将来推計

【図3】

(人)



資料：豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画 データより
 (各年4月1日時点 2020年、2021年は実績値)

2 学校別児童生徒数の今後の見込み

(1) 小学校

【表1】

(単位：人)

中学校区別	小学校名	2021年 小学生 児童数 (実績)	小1～小6 児童数合計 (見込み)					小1～小6 児童数合計 (推計)			
			2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2030年	2035年	2040年
豊岡南中	豊岡小	373	349	342	320	309	294	299	268	260	223
	内、豊岡南中学校区	202	194	188	175	163	147	149	145	138	121
	八条小	335	319	317	322	308	320	309	260	228	233
	三江小	135	131	118	113	110	112	108	93	79	65
	新田小	193	198	192	195	187	187	186	198	173	147
	中筋小	82	79	77	69	64	59	66	41	29	27
	神美小	127	116	111	102	90	93	78	66	60	53
	中学校区計	1,074	1,037	1,003	976	922	918	896	803	707	646
豊岡北中	豊岡小	373	349	342	320	309	294	299	268	260	223
	内、豊岡北中学校区	171	155	154	145	146	147	150	123	122	102
	田鶴野小	159	154	148	151	148	156	161	116	107	105
	五荘小	749	764	727	740	729	690	667	603	560	511
	中学校区計	1,079	1,073	1,029	1,036	1,023	993	978	842	789	718
港中	港小	84	83	87	88	78	74	73	58	45	38
豊岡計	2,237	2,193	2,119	2,100	2,023	1,985	1,947	1,703	1,541	1,402	
城崎中	城崎小	159	140	138	127	113	107	96	88	91	80
城崎計	159	140	138	127	113	107	96	88	91	80	
竹野中	竹野小	107	103	111	107	99	94	83	71	59	41
	中竹野小	23	18	20	17	18	18	17	16	11	8
	竹野南小	23	20	20	13	12	16	14	22	13	7
竹野計	153	141	151	137	129	128	114	109	83	56	
日高東中	府中小	177	179	180	163	145	142	137	117	106	93
	八代小	31	27	23	22	13	16	15	10	5	4
	日高小	407	391	378	356	347	327	324	282	235	211
	静修小	39	35	35	39	37	40	39	29	20	16
中学校区計	654	632	616	580	542	525	515	438	366	324	
日高西中	三方小	118	110	101	90	84	78	67	70	49	44
	清滝小	83	76	81	71	63	65	57	54	37	27
	中学校区計	201	186	182	161	147	143	124	124	86	71
日高計	855	818	798	741	689	668	639	562	452	395	
出石中	弘道小	214	213	194	180	161	147	141	124	108	93
	福住小	90	85	80	74	72	68	68	86	78	82
	寺坂小	27	30	29	28	29	27	23	21	11	8
	小坂小	89	86	81	72	62	59	56	63	47	45
	小野小	57	55	54	53	47	43	38	33	24	17
出石計	477	469	438	407	371	344	326	327	268	245	
但東中	合橋小	63	65	63	57	52	44	43	38	27	22
	高橋小	23	24	21	20	22	17	20	16	12	6
	資母小	60	62	53	56	54	49	42	37	26	15
但東計	146	151	137	133	128	110	105	91	65	43	
合計	4,027	3,912	3,781	3,645	3,453	3,342	3,227	2,880	2,500	2,221	

※太文字・網掛けの学校は基準上で複式学級が生じている(生じる見込みの)学校

資料：2022年～2027年 住民基本台帳・各校在籍者からの見込み

2030年～2040年 豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画 データ より

・2021年は5月1日、他は各年4月1日時点を基準としています

・市立小学校の児童数推計のため、5ページ 図3の数値とは一致しません

(2) 中学校

【表2】

(単位：人)

中学校名	2021年 中学生 生徒数 (実績)	中1～中3 生徒数合計 (見込み)						中1～中3 生徒数合計 (推計)		
		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2030年	2035年	2040年
豊岡南中	559	554	545	531	529	489	483	435	386	335
豊岡北中	479	503	527	530	497	471	466	481	397	345
港中	48	50	41	41	42	47	41	46	26	22
城崎中	65	77	77	84	76	72	72	55	44	43
竹野中	83	82	74	75	67	74	71	60	48	36
日高東中	365	342	339	330	330	325	279	258	198	168
日高西中	101	98	101	103	101	94	84	67	52	37
出石中	255	240	240	236	246	240	216	168	143	116
但東中	85	72	76	71	81	83	78	58	42	32
合計	2,040	2,018	2,020	2,001	1,969	1,895	1,790	1,628	1,336	1,134

資料：2022年～2030年 住民基本台帳・各校在籍者からの見込み

2035年、2040年 豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画 データ より

・2021年は5月1日、他は各年4月1日時点を基準としています

・市立中学校の生徒数推計のため、5ページ 図3の数値とは一致しません

3 学校規模の現状と今後の見込み

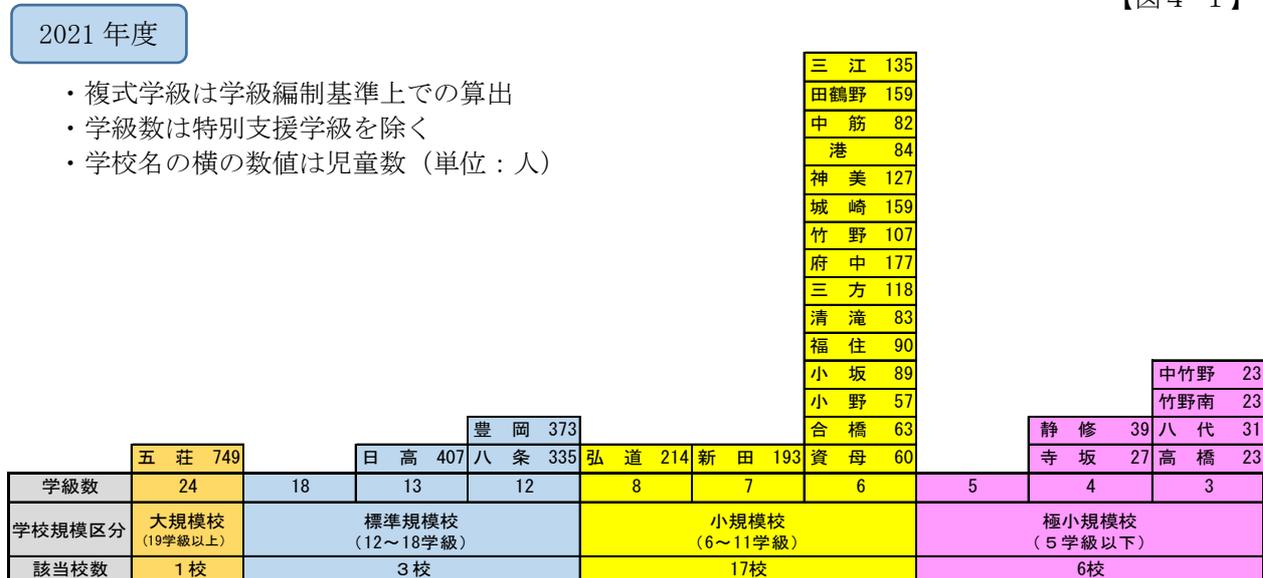
(1) 小学校の学校規模分布

学校規模は、国の法令上、小中学校とも12～18学級を標準としています。

本市の現状（2021年度）をみると、小学校27校中、標準規模校は3校、大規模校は1校、小規模校は23校あります。また、小規模校のうち、複式学級が生じるほどの小規模校（ここでは、「極小規模校」とし、児童数が50人程度以下とします。）は、6校あります。（図4-1）

2035年度をみると、大規模校であった五荘小学校が標準規模校になるほか、すべての小規模校が1学年1学級のみになります。また、極小規模校は5校増えて11校になるなど、今後も学校の小規模化が進んでいくものと見込んでいます。（図4-2）

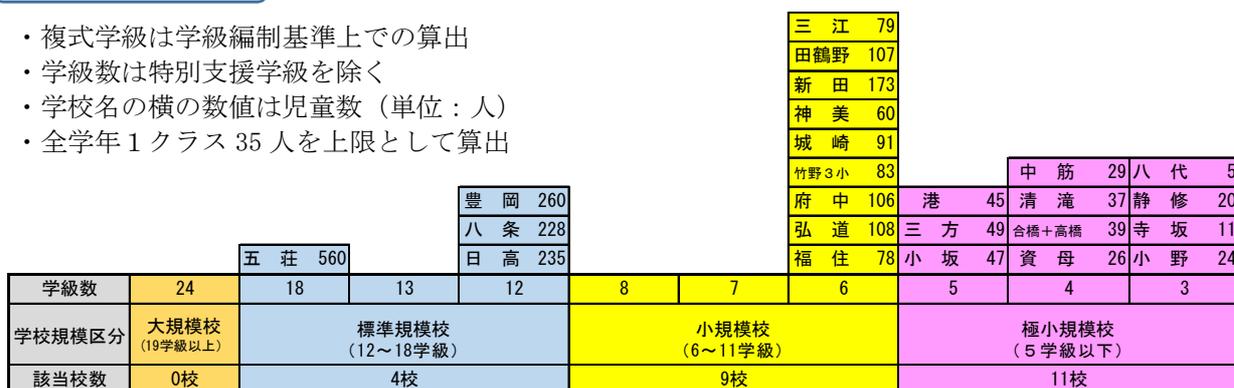
【図4-1】



【図4-2】

2035年度（見込）

- ・複式学級は学級編制基準上での算出
- ・学級数は特別支援学級を除く
- ・学校名の横の数値は児童数（単位：人）
- ・全学年1クラス35人を上限として算出



(2) 中学校の学校規模分布

本市の現状（2021 年度）をみると、中学校9校中、標準規模校は2校、小規模校が7校あります。（図4-3）

2035 年度をみると、標準規模校、小規模校の数については変わりませんが、クラス数については減少がみられます。とくに1学年1学級の学校については、全校生徒数がすべて50人程度以下になると見込んでいます。（図4-4）

【図4-3】

2021 年度

学級数は特別支援学級を除く

学校名の横の数値は生徒数（単位：人）

		豊岡南 559	豊岡北 479	日高東 365	出石 255		港 48
							城崎 65
							竹野 83
							日高西 101
							但東 85
学級数		15	12	11	8	6	3
学校規模区分	大規模校 (19学級～)	標準規模校 (12～18学級)		小規模校 (3～11学級)			
該当校数	0校	2校		7校（うち、すべての学年でクラス替えが不可な学校 5校）			



【図4-4】

2035 年度（見込）

学級数は特別支援学級を除く

学校名の横の数値は生徒数（単位：人）

全学年1クラス40人を上限として算出

							港 26
							城崎 44
							竹野 48
						日高東 198	日高西 52
						出石 143	但東 42
学級数		15	12	11	8	6	3
学校規模区分	大規模校 (19学級～)	標準規模校 (12～18学級)		小規模校 (3～11学級)			
該当校数	0校	2校		7校（うち、すべての学年でクラス替えが不可な学校 5校）			

4 学校施設の現状

(1) 施設の老朽化の課題

本市は広大な市域に小学校27校と中学校9校、計36校、92棟を保有していますが、その中には、建築後30年以上を経過した施設が72棟、うち、50年以上を経過した施設が20棟あるなど、施設の老朽化対策が喫緊の課題となっています。

(2) 計画的な長寿命化改修

これらの学校施設については、必要な耐震化工事等は完了しているものの、順次、長寿命化工事等の対策を施す必要が生じています。

一方で、本市では少子高齢化の進展等に伴う社会情勢の変化により、財政状況は一層厳しさを増していくことが予想されます。

そのような中で、今後も安全・安心な教育環境の整備・充実を図っていくためにも、学校再編後の姿を踏まえ、計画的に、施設の長寿命化改修や修繕等の学校整備を行っていく必要があります。

5 学校の小規模化による課題

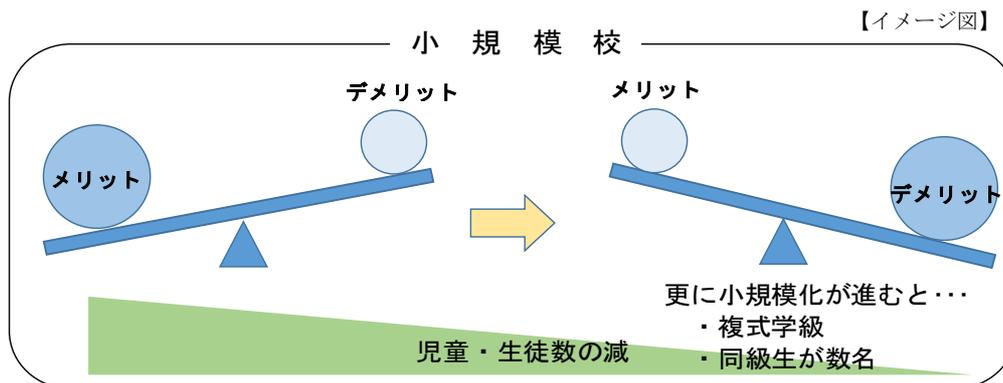
小規模校には小規模校の良さがありますが、その一方、課題もあります。

特に複式学級が生じたり、同級生が数名のみになるなど、学級の人数が少なくなればなるほど、課題が大きくなっていきます。

文部科学省が示している小規模校の一般的なメリット・デメリット（一例）

【表3】

項目	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。 学校行事や部活動等において、児童生徒一人一人の個別の活動機会を設定しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。 1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団をめざす、学級間でお互いに高め合う等の活動がなされにくい。 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。 児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導等、多様な学習・指導形態を取りにくい。 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。 異学年間の縦の交流が生まれやすい。 児童・生徒の一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> クラス替えが困難なこと等から、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。 切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。 組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 学校が一体となって活動しやすい。 施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員数が少ないため、経験、教科、特性等の面でバランスのとれた配置を行いにくい。 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。 教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域社会との連携が図りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。



(参考) 学校規模に関する国・県の基準

【国の基準】

- 法令では学校規模を学級数で示しています。
小学校・中学校ともに標準学級数は「12学級以上18学級以下」とされています。
(学校教育法施行規則第41条及び第79条)
- 1学級の児童生徒数の標準については、次のとおりとされています。
(公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律第3条)
- **2021年改正**により、小学校の学級編制の標準を40人から35人に段階的に引き下げられます。これにより、2025年には小学校の全学年が35人学級となります。

	小学校	中学校
同学年の児童で編制する学級	35人(1~2年生)	40人
	40人(3~6年生) ※段階的に35人に	
複式学級(2個学年)	16人 (1年生を含む場合8人)	8人

【兵庫県の基準】

- 兵庫県では、1学年の児童生徒数の標準を次のとおりとされています。
〔学級編制基準及び教職員定員配当方針(2021年改正 兵庫県教育委員会)〕

	小学校	中学校
同学年の児童で編制する学級	35人(1~2年生)	40人
	2021年度 35人(3~4年生) (新学習システムにより) 40人(5・6年生) ※段階的に35人に	
複式学級(2個学年)	14人 (1年生を含む場合8人)	なし*

※兵庫県は中学校について、複式学級の編制基準を設定していないため、公立中学校に複式学級はありません。

第3章 豊岡市のめざす教育

ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成 ～非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～

本市は、2020年2月に「第4次 とよおか教育プラン」を策定しました。新たなプランでは、第3次計画に引き続き、基本理念を「ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成」と設定し、あわせて、これまでの方向性を発展させるものとして「非認知能力※⁴（やり抜く力・自制心・協働性）」を重視し焦点化したものとしています。

ふるさとの「ひと・もの・こと」と出会い、体験を通して学びながら夢や目標を持ち、その実現に向けて挑戦するために必要な非認知能力を伸ばすことが基本理念の実践の方向であると考えています。

また、本市では、全国に先駆けて、2007年度から小中連携教育に取り組んできました。2017年度からは、9年間の系統性と一貫性のあるカリキュラムを実践するため、小中一貫教育「豊岡こうのとりプラン」を公立の全9中学校区において実施しています。2020年度からは、特に「授業でつながる小中一貫教育」をテーマとし、子どもたちの“生きる力”を育むための取組として充実を図っています。

「豊岡こうのとりプラン」の中心となる取組は、「ふるさと教育」、「英語教育」、「コミュニケーション教育」の3つの柱で構成する「ローカル&グローバル学習」の実践です。

3つの教育をバランスよく実践することが、子どもたちの生きる力を育み、「小さな世界都市」をめざす豊岡の未来を創造する力を持った子どもを育てていくことにつながっていくものと考えています。



コミュニケーション能力 育成の取組

※4 非認知能力

テスト等の数値では測定できない個人の特性による能力。

意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった、本来ひとりひとりが持っている能力。学力（認知能力）と対照して用いられる。学術研究によって、非認知能力の高さが学歴や雇用、収入に影響することが明らかになっていることから、幼児教育の分野で注目を集めている。非認知能力は、知識や技能のように、1人でもある程度習得できるものとは異なり、集団での生活や活動などを通じ、教師や保護者の肯定的な関りにより繰り返し取り組むことで高めることができる。

第4章 豊岡市における小中学校の適正規模・適正配置のあり方

1 小中学校の適正規模の考え方

(1) 学校規模適正化の必要性

学校の規模は、学習面、生活面、学校運営面など様々な面で、児童生徒をはじめとする学校に関わる全ての人々に影響を与えます。

市教育委員会としては、公教育の公平性・機会均等性の観点から、市内のどの学校であっても、教育水準や教育施設、設備、教員の配置などといった教育条件・教育環境について、一定の水準を満たし、公平に提供するよう努めなければなりません。

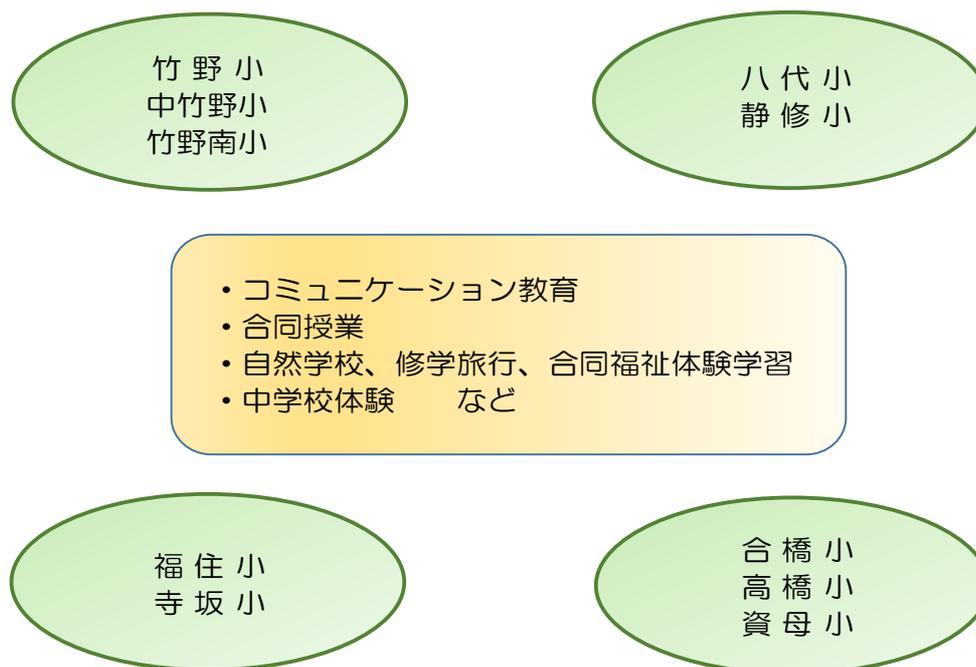
本市では、小規模校の課題軽減のための取組として、学校ごとに様々な工夫や小小連携教育の取組^{※5}等を行っています。児童生徒の個性を發揮させ、主体性や多様性を培うためにも、教科学習はもとより、グループ学習、運動会や文化祭などの学校行事、部活動といった教育環境について、ある程度の集団規模が日常的に確保されるべきであると考えます。このことから、学校規模の適正化が必要です。

※5 小小連携教育の取組

小規模校における教育課題の軽減を図るため、連携する学校の実態に応じて、年に数回、合同で授業を行う等の取組を行っています。(図5)

【図5】

2021年度 小小連携教育実施校と主な実施内容



※学校によって実施内容は異なります。

(2) 基本的な考え方

ア 学習指導要領へのより効果的な対応

子どもたちが社会で必要とされる資質・能力を身につけるため、新しい学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」を重要な要素としています。これをより効果的に取り組むためにも、ある程度の集団規模の中で、多様な学習形態を取り入れた教育を可能にする学校規模が望ましいと考えます。

イ 複数学級の確保

クラス替えは、多様な他者と出会うことで人間関係に変化を持たせることができ、友だちを増やす機会にもつながります。また、切磋琢磨し合える環境となるだけでなく、新たな仲間と出会うことで、自分自身の再発見にもつながります。このため、各学年に複数の学級を確保することが望ましいと考えます。

ウ 豊岡市のめざす教育（非認知能力の育成）へのより効果的な対応

児童生徒は、集団生活の中で豊かな人間関係を築きながら、多様な考え方に触れ、また、他者の頑張る姿勢や応援を力として、「やり抜く力・自制心・協働性」といった力（非認知能力）を身につけることができると言われています。

「集団の中で認められる」「考えの異なる友だちと協働できる」ことができるよう、ある程度の集団規模を確保することが望ましいと考えます。

エ 集団での教育活動等の充実

運動会（体育祭）や学習発表会、中学校の部活動等様々な学校教育活動の充実を図るためにも、ある程度の児童・生徒数と教職員数が確保された学校規模が望ましいと考えます。

オ 教員の人数の確保と質の向上

配置される教員の数は、学級数によって決まります。

教員の人数を確保することにより、経験、教科、特性等をいかしたバランスの良い教員配置や、研修機会の確保、円滑な学校運営、教員の負担軽減等を図ることができ、教員の質の向上にもつながると考えます。

(3) 望ましい学校規模（理想とする姿）

ア 小学校の規模の考え方

小学校では、多様な人間関係を築くうえでクラス替えを可能とし、また同学年に複数の教員を配置するうえでも、国の基準を「望ましい学校規模」とします。

イ 中学校の規模の考え方

中学校では、教科担任制であることから、生徒の学習等に影響がないよう、全教科に十分な教員配置を行う必要性や、多様な部活動を可能にするうえでも一定数の生徒と教職員を確保する必要があることから、文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（2015年1月）（以下「国の手引」という。）に記載されている基準を「望ましい学校規模」とします。

望ましい学校規模（理想とする姿）

- ① 小学校 12～18 学級（各学年 2～3 学級）
- ② 中学校 9～18 学級（各学年 3～6 学級）

(4) 最低限確保したい学校規模（下限の目安）

広大な面積を有する本市においては、学校再編を行ったとしても、「望ましい学校規模」を確保することが困難な学校が多い状況です。したがって、これとは別に、①各学年 1 学級以上を確保し、②単学級であっても、複数のグループを編成しての学習が可能となる人数を確保する「最低限確保したい学校規模（下限の目安）」を設けることとします。

最低限確保したい学校規模（下限の目安）

- ① 小学校 6 学級以上（各学年 1 学級以上）
 - ② 中学校 3 学級以上（各学年 1 学級以上）
- 〔 小中学校とも、各学年 20 人程度以上 〕

2 小中学校の適正配置の考え方

(1) 基本的な考え方

ア 通学距離・通学時間の考慮

本市は、市域の約 8 割を森林が占め、697.55 平方キロメートルという東京 23 区よりも広大な面積の中に、小学校 27 校、中学校 9 校が点在しています。

このため、通学距離・通学時間の負担が大きくなり過ぎないように、学校配置を考慮する必要があります。

イ 地域特性の考慮

地域の歴史や学校との社会的なつながり等の地域特性を考慮する必要があります。

(2) 小中学校の適正配置

ア 国の基準

適正な通学距離は、法令（義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第 4 条）において、小学校はおおむね 4 km 以内、中学校はおおむね 6 km 以内とされています。

他方、「国の手引」では、適切な交通手段が確保でき、遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つ場合には、通学時間について、「おおむね 1 時間以内」を目安とすることとされています。

イ 豊岡市の考え方

本市の広大な面積を考えると、児童生徒の通学条件を通学距離だけで設定することは実情に合わないことから、本市における学校の適正配置は、①通学時間と②旧市町ごとの歴史的・社会的背景を考慮し、次のとおりとします。

① 通学時間は、小中学校ともおおむね 1 時間以内とする

※遠距離では、交通手段の確保が前提

② 小学校の再編は、原則、同一中学校区内とする

③ 中学校の再編は、原則、旧市町域内とする

〔 原則、旧市町域内に小・中とも 1 校は存続させる 〕

第5章 学校再編の考え方

1 学校再編の基本方針

本市では、学校統合を基本に学校再編を進めることとします。また、教育環境や敷地・施設の面等で要件が満たされる場合には、施設一体型小中一貫校^{※6}として再編・整備を行うこととします。

学校再編の基本方針

- 学校統合
- 施設一体型小中一貫校として再編・整備
(要件が満たされる場合)

※6 施設一体型小中一貫校については 19 ページを参照

(参考) 審議会での学校再編の手法検討

審議会では、学校規模の適正化は必要であるとしたうえで、最適化を行うための主な手法について、次の内容について議論されました。

1 通学区域の見直し

大きな校区を分割し、小さい校区に割り当てる等、通学区域の見直しを行う。

⇒ 本市では、ほとんどの校区が地域コミュニティと同じエリアで構成されています。校区を分割することは、これまで培ってきた、地域のつながりを分断することにつながり、地域の伝統・文化の継承等の面からも支障が生じると考えます。

2 小規模特認校の導入

小規模特認校は、市内の他の校区からの入学を認める制度であり、児童・生徒数を増やすための方法の一つとして考えられます。

⇒ 導入により一定の効果を得られている事例があるものの、多くの学校では複式学級の解消にはつながっていない状況であり、たとえ解消できたとしても、一時的・限定的なものとなることが推測されます。また、逆に近隣の小規模校では児童・生徒の流出につながる等、課題も多いものと考えます。

3 学校の統合

通学区域の見直し、小規模特認校の導入の可能性について検討したうえで、本市においては、学校統合を基本に学校再編を進めるべきであると考えます。

また、再編により、旧市町域内に小中学校とも1校となり、かつ、教育環境や敷地・施設の面等で要件が満たされる場合には、小学校と中学校の施設を一体的に設置する「施設一体型小中一貫校」として再編・整備の検討が必要です。

(参考) 施設一体型小中一貫校とは

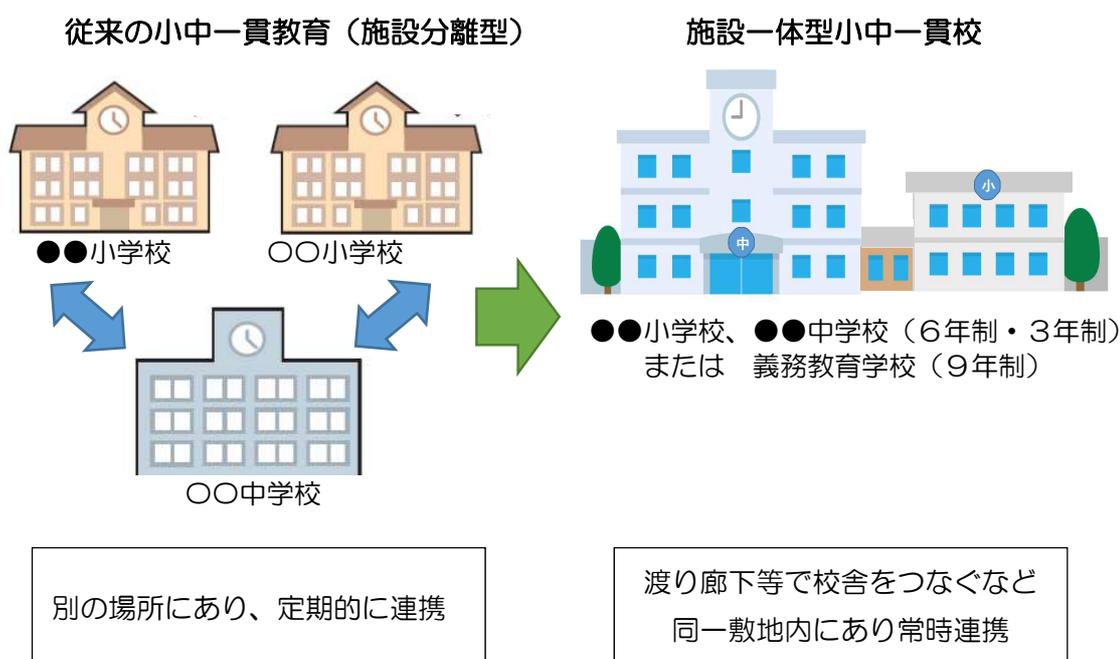
施設一体型小中一貫校とは小学校と中学校の校舎の全部又は一部が一体的に整備されていて、小中一貫教育が行われている学校のことをいいます。

同一施設に小学校と中学校を置くことにより、次のような教育効果が期待できます。

1 施設一体型小中一貫校で期待できる教育効果

- (1) 同じ施設内で、小中9年間の一貫したカリキュラムに基づいた計画的・継続的な教育活動を行うことができるようになります。
- (2) 中学校入学にあたっての不安解消につながります。(いわゆる中1ギャップの解消)
- (3) 小学校において教科担任制等を導入しやすくなり、より専門的な教育を受ける機会を増やすことにつながります。
- (4) その地域独自の、特色を持ったカリキュラムの編成が可能になります。
- (5) 小規模校のデメリットである児童生徒の人間関係の固定化等について、課題の軽減が期待できます。
- (6) 学校行事を小中合同で実施した場合は、集団活動や活躍の場を広げることができるようになります。また、保護者の負担軽減にもつながります。
- (7) 地域に小中学校が1校となる場合には、地域全体での学校行事への参加、学校運営への関わり等、連携が図りやすくなります。

2 施設一体型小中一貫校のイメージ



2 学校再編の優先順位

審議会からの答申に基づき、次のとおり、段階的に学校再編を進めることとします。

(1) 最優先

既に複式学級が生じている小学校

(2) 優先

ア 将来的に複式学級が生じると見込まれる小学校

今後、複式学級が継続的に生じると見込まれる学校については、複式学級が生じる前に再編に向けての調整をはじめます。

イ 小規模化により課題が生じる中学校

小規模化により、集団活動や部活動等で制約が生じるなど、課題が大きくなる中学校については再編を進めます。

(3) 将来的な検討

「最低限確保したい学校規模（下限の目安）」をめざし、将来的な学校のあり方について地域と検討を進めます。

【 大規模校への対応 】

本市では、五荘小学校が唯一、大規模校となっていますが、今後、五荘小学校においても少子化による児童数の減少が進むことが予想され、おおむね 10 年以内には標準規模（12～18 学級）となる見込みであることから、現状のままとします。

3 学校の位置

学校再編後の校舎は、基本的には既存施設を有効活用することとします。そのうえで、学校の位置は、次の項目をはじめとした様々な観点から検討・決定します。

- (1) 児童生徒の通学距離
- (2) バス通学となった場合のバスの利用人数
- (3) 施設の空き教室の状況
- (4) 施設の老朽化の状況 等

4 協議の進め方

(1) 保護者・住民との対話

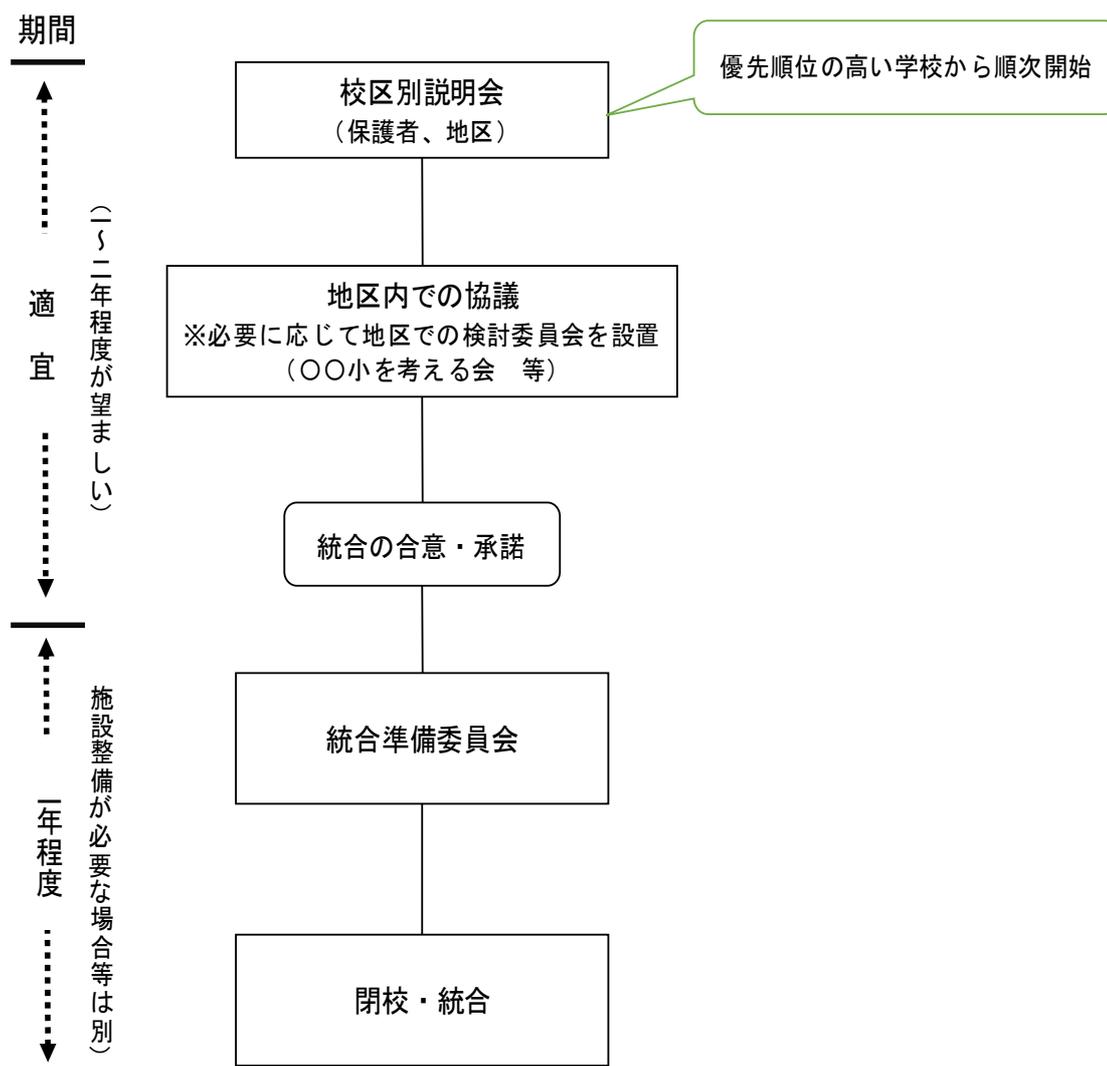
学校は、子どもたちの教育の場であるというだけでなく、地域の交流拠点や災害時の避難所など様々な機能を有しています。

学校再編の協議にあたっては、地域の歴史的背景や愛着等も考慮し、理解を得ながら、慎重に進める必要があります。

一方で学校再編が長期化した場合は、課題解消の遅延、学校の小規模化のさらなる進行等により、子どもたちへの影響や、保護者をはじめとした関係者の不安が大きくなる懸念があります。

このことから、保護者の意向を最優先とし、該当校区の保護者・住民と対話を重ねながら継続的に協議を行うこととします。

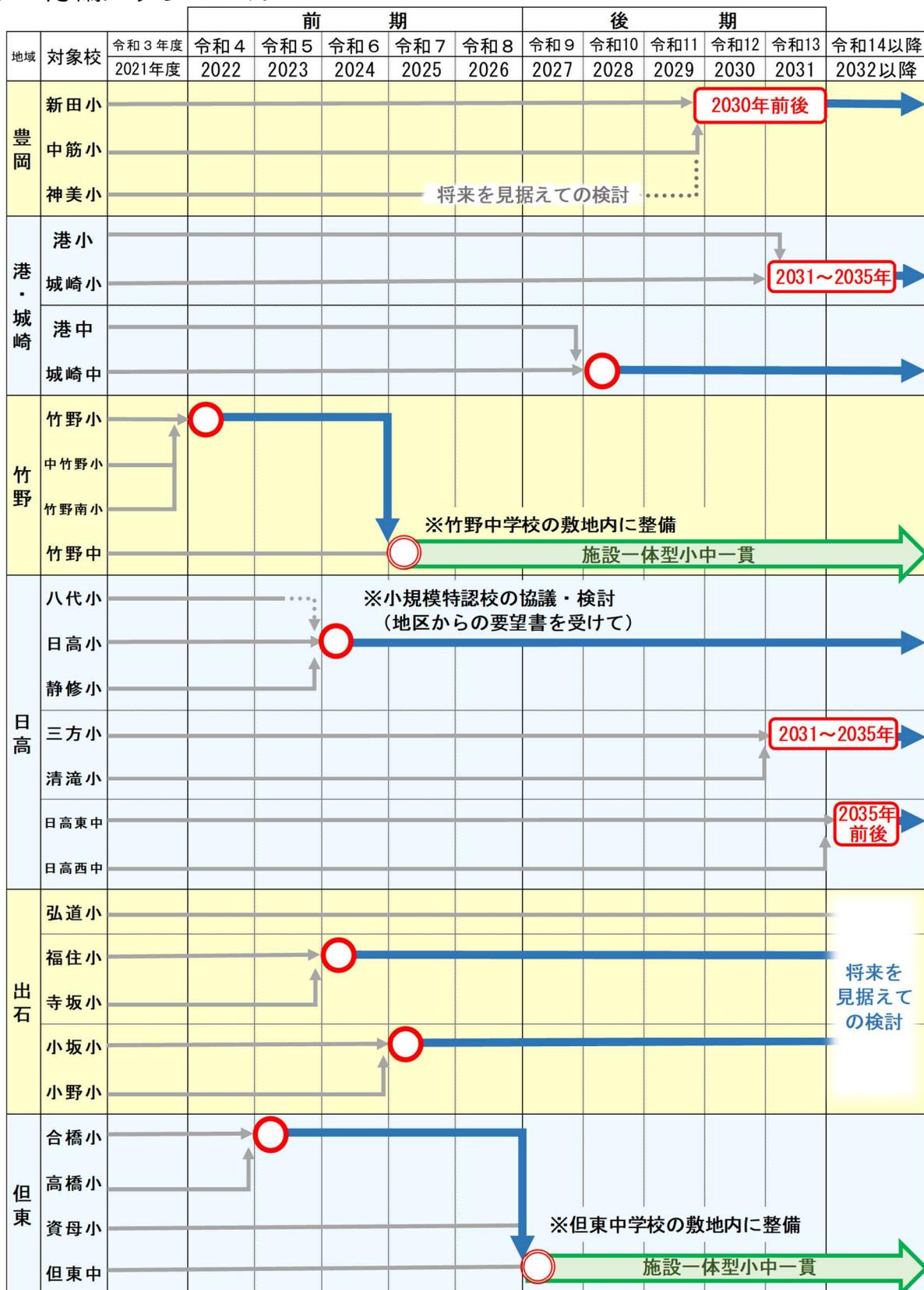
(2) 進め方の流れ（一例）



第6章 学校再編のスケジュールと具体的な枠組み

学校再編を進めるためのスケジュールと個別の枠組み（詳細）を次のとおりとします。

1 再編スケジュール



2 個別の再編枠組み（詳細）

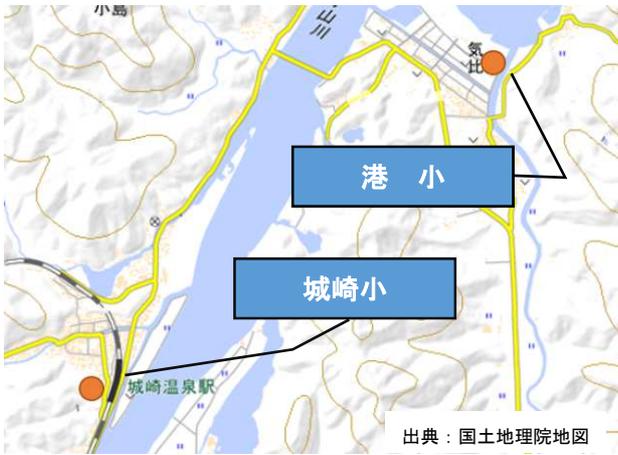
(1) 小学校の再編

No.1 新田小学校、中筋小学校の再編

児童数 学級数 見込み	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">2021 年度</th> <th colspan="2">2030 年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新田小</td> <td>193</td> <td>7</td> <td>198</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>中筋小</td> <td>82</td> <td>6</td> <td>41</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>275</td> <td>—</td> <td>239</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 学級数は、特別支援学級を除く。</p>	学校名	2021 年度		2030 年度		児童数	学級数	児童数	学級数	新田小	193	7	198	6	中筋小	82	6	41	5	合計	275	—	239	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">2030 年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>39</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>40</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3 年</td> <td>39</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>4 年</td> <td>40</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>5 年</td> <td>46</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>6 年</td> <td>35</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>239</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	学年	2030 年度		児童数	学級数	1 年	39	2	2 年	40	2	3 年	39	2	4 年	40	2	5 年	46	2	6 年	35	1	合計	239	11
	学校名		2021 年度		2030 年度																																															
児童数		学級数	児童数	学級数																																																
新田小	193	7	198	6																																																
中筋小	82	6	41	5																																																
合計	275	—	239	—																																																
学年	2030 年度																																																			
	児童数	学級数																																																		
1 年	39	2																																																		
2 年	40	2																																																		
3 年	39	2																																																		
4 年	40	2																																																		
5 年	46	2																																																		
6 年	35	1																																																		
合計	239	11																																																		
学校間の 距離		<table border="1"> <tr> <td>学校間距離 新田小～中筋小 4.4 km</td> </tr> <tr> <td>学校間移動時間（バス） 約 13 分 （20 km/h）</td> </tr> <tr> <td>最も遠い集落からの距離 百合地 ⇒ 中筋小 6.4 km 市谷 ⇒ 新田小 7.6 km</td> </tr> </table>	学校間距離 新田小～中筋小 4.4 km	学校間移動時間（バス） 約 13 分 （20 km/h）	最も遠い集落からの距離 百合地 ⇒ 中筋小 6.4 km 市谷 ⇒ 新田小 7.6 km																																															
学校間距離 新田小～中筋小 4.4 km																																																				
学校間移動時間（バス） 約 13 分 （20 km/h）																																																				
最も遠い集落からの距離 百合地 ⇒ 中筋小 6.4 km 市谷 ⇒ 新田小 7.6 km																																																				
考え方	<p>中筋小学校の児童数の推計では、2030 年度には児童数が 40 人程度となる見込みであり、10 年以内に複式学級が生じる可能性があることから再編が必要な時期を 2030 年前後としています。</p> <p>ただし、住民の転入・転出が他の地域と比べ多い傾向にあることから、今後の児童数の推移を注視し、改めて適切な再編の時期を検討する必要があります。</p> <p>また、長期的な視点として、中筋小学校と新田小学校に加え、神美小学校も含めた再編を視野に入れた検討も必要です。</p>																																																			
時期の 目安	2030 年度前後 （3～5 年後に再検討）																																																			
場 所	新田小学校の校舎利用を想定																																																			

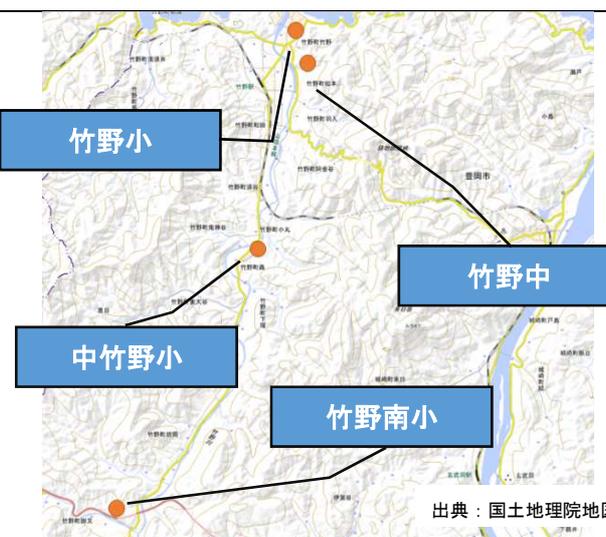
学校名	用途	面積 (㎡)	建築年	経過年数				備 考
				2020年	2030年	2040年	2045年	
新田小	校舎 1	2,753	1980	40	50	60	65	耐震
	校舎 2	1,028	1981	39	49	59	64	
	体育館	1,078	1982	38	48	58	63	
中筋小	校舎 1	1,378	1990	30	40	50	55	
	校舎 2	858	1991	29	39	49	54	
	体育館	1,033	1992	28	38	48	53	

No.2 港小学校、城崎小学校の再編

児童数 学級数 見込み	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">2021年度</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>港小</td> <td>84</td> <td>6</td> <td>58</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>城崎小</td> <td>159</td> <td>6</td> <td>88</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>243</td> <td>—</td> <td>146</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 学級数は、特別支援学級を除く。</p>	学校名	2021年度		2030年度		児童数	学級数	児童数	学級数	港小	84	6	58	6	城崎小	159	6	88	6	合計	243	—	146	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>24</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>24</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>25</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>25</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>25</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>23</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>146</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	学年	2030年度		児童数	学級数	1年	24	1	2年	24	1	3年	25	1	4年	25	1	5年	25	1	6年	23	1	合計	146	6
	学校名		2021年度		2030年度																																															
児童数		学級数	児童数	学級数																																																
港小	84	6	58	6																																																
城崎小	159	6	88	6																																																
合計	243	—	146	—																																																
学年	2030年度																																																			
	児童数	学級数																																																		
1年	24	1																																																		
2年	24	1																																																		
3年	25	1																																																		
4年	25	1																																																		
5年	25	1																																																		
6年	23	1																																																		
合計	146	6																																																		
学校間の 距離	 <p>出典：国土地理院地図</p>	<table border="1"> <tr> <td>学校間距離</td> <td>港小～城崎小 4.2 km</td> </tr> <tr> <td>学校間移動時間 (バス)</td> <td>約 13分 (20 km/h)</td> </tr> <tr> <td>最も遠い集落からの距離</td> <td>三原 ⇒ 城崎小 10.2 km 二見 ⇒ 港小 8.8 km</td> </tr> </table>	学校間距離	港小～城崎小 4.2 km	学校間移動時間 (バス)	約 13分 (20 km/h)	最も遠い集落からの距離	三原 ⇒ 城崎小 10.2 km 二見 ⇒ 港小 8.8 km																																												
学校間距離	港小～城崎小 4.2 km																																																			
学校間移動時間 (バス)	約 13分 (20 km/h)																																																			
最も遠い集落からの距離	三原 ⇒ 城崎小 10.2 km 二見 ⇒ 港小 8.8 km																																																			
考え方	<p>港小学校は、2021年度に港東小学校と港西小学校の統合により開校したものです。児童数の推計をみると、10年～15年以内に複式学級が生じるものと見込まれます。</p> <p>そのため、再編が必要な時期を2031年以降とし、今後の児童数の推移を注視したうえで、改めて詳細な時期について検討する必要があります。</p>																																																			
時期の 目安	2031～2035年度 (3～5年後に再検討)																																																			
場所	城崎小学校の校舎利用を想定																																																			

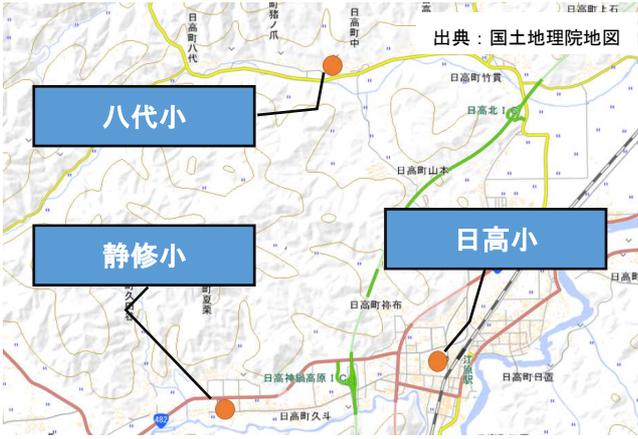
学校名	用途	面積 (㎡)	建築年	経過年数				備考
				2020年	2030年	2040年	2045年	
港小	校舎1	1,932	1985	35	45	55	60	旧港東小
	体育館	985	1986	34	44	54	59	旧港東小
城崎小	校舎1	2,465	1988	32	42	52	57	
	校舎2	1,854	1988	32	42	52	57	
	体育館	1,479	1988	32	42	52	57	

No.3 竹野地域 施設一体型小中一貫校への再編

児童数 学級数 見込み	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">2021年度</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竹野小</td> <td>107</td> <td>6</td> <td rowspan="4">109</td> <td rowspan="4">6</td> </tr> <tr> <td>中竹野小</td> <td>23</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>竹野南小</td> <td>23</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>153</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 学級数は、特別支援学級を除く。</p> <p>※竹野小、中竹野小、竹野南小は 2022 年度に統合予定</p>	学校名	2021年度		2030年度		児童数	学級数	児童数	学級数	竹野小	107	6	109	6	中竹野小	23	3	竹野南小	23	3	合計	153	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>16</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>19</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>25</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>15</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>109</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	学年	2030年度		児童数	学級数	1年	16	1	2年	17	1	3年	17	1	4年	19	1	5年	25	1	6年	15	1	合計	109	6
	学校名		2021年度		2030年度																																														
児童数		学級数	児童数	学級数																																															
竹野小	107	6	109	6																																															
中竹野小	23	3																																																	
竹野南小	23	3																																																	
合計	153	—																																																	
学年	2030年度																																																		
	児童数	学級数																																																	
1年	16	1																																																	
2年	17	1																																																	
3年	17	1																																																	
4年	19	1																																																	
5年	25	1																																																	
6年	15	1																																																	
合計	109	6																																																	
学校間の距離	 <p>出典：国土地理院地図</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学校間距離 (竹野中まで)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竹野小</td> <td>1.0 km</td> </tr> <tr> <td>中竹野小</td> <td>4.0 km</td> </tr> <tr> <td>竹野南小</td> <td>10.4 km</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学校間移動時間 (バス)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竹野南小 ⇒ 竹野中</td> <td>約 31 分 (20 km/h)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">最も遠い集落からの距離 (竹野中まで)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三原 ⇒</td> <td>19.7 km</td> </tr> </tbody> </table>	学校間距離 (竹野中まで)		竹野小	1.0 km	中竹野小	4.0 km	竹野南小	10.4 km	学校間移動時間 (バス)		竹野南小 ⇒ 竹野中	約 31 分 (20 km/h)	最も遠い集落からの距離 (竹野中まで)		三原 ⇒	19.7 km																																	
学校間距離 (竹野中まで)																																																			
竹野小	1.0 km																																																		
中竹野小	4.0 km																																																		
竹野南小	10.4 km																																																		
学校間移動時間 (バス)																																																			
竹野南小 ⇒ 竹野中	約 31 分 (20 km/h)																																																		
最も遠い集落からの距離 (竹野中まで)																																																			
三原 ⇒	19.7 km																																																		
考え方	<p>中竹野小学校、竹野南小学校は 2022 年 4 月に竹野小学校に統合予定です。竹野中学校についても小規模化が進んでいますが、竹野地域では、地理的要因等から小中学校とも、これ以上の再編は難しい状況にあります。</p> <p>このような中で、ある程度の集団規模を確保する方法として、施設一体型小中一貫校とすることがあげられます。これにより、現在進めている小中一貫教育をより一層実効性のあるものとする事ができるほか、竹野地域独自の特色のある教育が可能となるなど様々な教育効果が期待できます。</p>																																																		
時期の目安	2025 年度																																																		
場所	竹野中学校の敷地内に新たに小学校の校舎を整備 (施設一体型小中一貫校)																																																		

学校名	用途	面積 (㎡)	建築年	経過年数				備考
				2020年	2030年	2040年	2045年	
竹野小	校舎 1	2,224	1960	60	70	80	85	耐震/要改築
	校舎 2	567	1961	59	69	79	84	耐震/要改築
	体育館	643	1962	58	68	78	83	耐震/要改築
竹野中	校舎	3,815	1996	24	34	44	49	
	体育館	2,281	1996	24	34	44	49	

No.4 八代小学校、日高小学校、静修小学校の再編

児童数 学級数 見込み	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">2021 年度</th> <th colspan="2">2030 年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八代小</td> <td>31</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日高小</td> <td>407</td> <td>13</td> <td>282</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>静修小</td> <td>39</td> <td>5</td> <td>29</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>477</td> <td>—</td> <td>321</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 学級数は、特別支援学級を除く。</p>	学校名	2021 年度		2030 年度		児童数	学級数	児童数	学級数	八代小	31	4	10	3	日高小	407	13	282	12	静修小	39	5	29	3	合 計	477	—	321	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">2030 年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>46</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>49</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3 年</td> <td>51</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>4 年</td> <td>52</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>5 年</td> <td>62</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>6 年</td> <td>61</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>321</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	学年	2030 年度		児童数	学級数	1 年	46	2	2 年	49	2	3 年	51	2	4 年	52	2	5 年	62	2	6 年	61	2	合計	321	12
	学校名		2021 年度		2030 年度																																																				
児童数		学級数	児童数	学級数																																																					
八代小	31	4	10	3																																																					
日高小	407	13	282	12																																																					
静修小	39	5	29	3																																																					
合 計	477	—	321	—																																																					
学年	2030 年度																																																								
	児童数	学級数																																																							
1 年	46	2																																																							
2 年	49	2																																																							
3 年	51	2																																																							
4 年	52	2																																																							
5 年	62	2																																																							
6 年	61	2																																																							
合計	321	12																																																							
学校間の 距離	 <p>出典：国土地理院地図</p>	<table border="1"> <tr> <td>学校間距離 (日高小まで)</td> </tr> <tr> <td>八代小 4.4 km</td> </tr> <tr> <td>静修小 2.3 km</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>学校間移動時間(バス) (日高小まで)</td> </tr> <tr> <td>静修小 約 7 分 (20 km/h)</td> </tr> <tr> <td>八代小 約 15 分 (20 km/h)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>最も遠い集落からの距離 (日高小まで)</td> </tr> <tr> <td>小河江 ⇒ 日高小 10.5 km</td> </tr> </table>	学校間距離 (日高小まで)	八代小 4.4 km	静修小 2.3 km	学校間移動時間(バス) (日高小まで)	静修小 約 7 分 (20 km/h)	八代小 約 15 分 (20 km/h)	最も遠い集落からの距離 (日高小まで)	小河江 ⇒ 日高小 10.5 km																																															
学校間距離 (日高小まで)																																																									
八代小 4.4 km																																																									
静修小 2.3 km																																																									
学校間移動時間(バス) (日高小まで)																																																									
静修小 約 7 分 (20 km/h)																																																									
八代小 約 15 分 (20 km/h)																																																									
最も遠い集落からの距離 (日高小まで)																																																									
小河江 ⇒ 日高小 10.5 km																																																									
考え方	<p>八代小学校と静修小学校は、既に複式学級が生じていることから、早期の再編が必要です。</p> <p>八代小学校と静修小学校は小小連携教育を実施していることから、同時に日高小と再編することにより、顔なじみの児童がいること等、環境の変化への負担軽減を図ることができると思います。</p> <p>3校での再編のため、それぞれの地区等との十分な協議・調整が必要です。</p> <p>仮に一方の地区との調整に時間を要することとなった場合には、同時期ではなく、2段階での再編も検討する必要があります。</p> <p>市教育委員会としては3校での再編が望ましいと考えていますが、八代地区からは、八代小学校を小規模特認校とすることへの強い要望が出されています。このため、今後、様々な視点から協議を進めていくこととします。</p>																																																								
時期の 目 安	2024 年度																																																								
場 所	日高小学校を想定																																																								

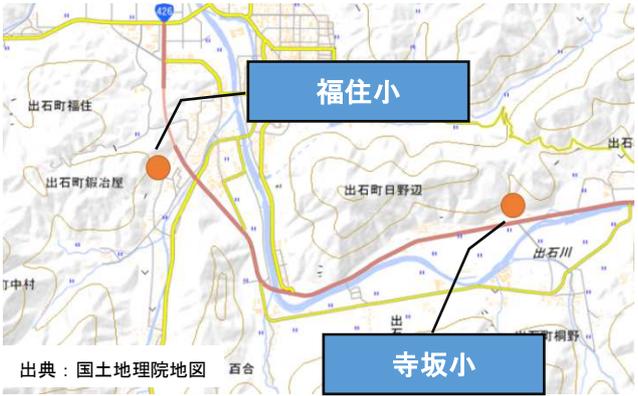
学校名	用途	面 積 (㎡)	建築年	経過年数				備 考
				2020年	2030年	2040年	2045年	
八代小	校舎 1	691	1971	49	59	69	74	耐震
	校舎 2	1,425	1995	25	35	45	50	
	体育館	1,052	1986	34	44	54	59	
日高小	校舎 1	2,571	1965	55	65	75	80	耐震済/要長寿命化
	校舎 2	2,864	1974	46	56	66	71	要長寿命化
	体育館	1,489	2002	18	28	38	43	
静修小	校舎 1	937	1977	43	53	63	68	
	校舎 2	347	2011	9	19	29	34	
	体育館	722	1983	37	47	57	62	

No.5 三方小学校、清滝小学校の再編

児童数 学級数 見込み	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">2021 年度</th> <th colspan="2">2030 年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三方小</td> <td>118</td> <td>6</td> <td>70</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>清滝小</td> <td>83</td> <td>6</td> <td>54</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>201</td> <td>—</td> <td>124</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 学級数は、特別支援学級を除く。</p>	学校名	2021 年度		2030 年度		児童数	学級数	児童数	学級数	三方小	118	6	70	6	清滝小	83	6	54	6	合計	201	—	124	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">2030 年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>16</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>18</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3 年</td> <td>20</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 年</td> <td>19</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5 年</td> <td>30</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6 年</td> <td>21</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>124</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	学年	2030 年度		児童数	学級数	1 年	16	1	2 年	18	1	3 年	20	1	4 年	19	1	5 年	30	1	6 年	21	1	合計	124	6
	学校名		2021 年度		2030 年度																																															
児童数		学級数	児童数	学級数																																																
三方小	118	6	70	6																																																
清滝小	83	6	54	6																																																
合計	201	—	124	—																																																
学年	2030 年度																																																			
	児童数	学級数																																																		
1 年	16	1																																																		
2 年	18	1																																																		
3 年	20	1																																																		
4 年	19	1																																																		
5 年	30	1																																																		
6 年	21	1																																																		
合計	124	6																																																		
学校間の 距離	<p>出典：国土地理院地図</p>	<table border="1"> <tr> <td>学校間距離</td> </tr> <tr> <td>三方小～清滝小 4.8 km</td> </tr> <tr> <td>学校間移動時間（バス）</td> </tr> <tr> <td>約 15 分 （20 km/h）</td> </tr> <tr> <td>最も遠い集落からの距離</td> </tr> <tr> <td>稲葉 ⇒ 三方小 11.1 km</td> </tr> <tr> <td>羽尻 ⇒ 清滝小 8.3 km</td> </tr> </table>	学校間距離	三方小～清滝小 4.8 km	学校間移動時間（バス）	約 15 分 （20 km/h）	最も遠い集落からの距離	稲葉 ⇒ 三方小 11.1 km	羽尻 ⇒ 清滝小 8.3 km																																											
学校間距離																																																				
三方小～清滝小 4.8 km																																																				
学校間移動時間（バス）																																																				
約 15 分 （20 km/h）																																																				
最も遠い集落からの距離																																																				
稲葉 ⇒ 三方小 11.1 km																																																				
羽尻 ⇒ 清滝小 8.3 km																																																				
考え方	<p>清滝小学校の児童数の推計では、2030 年度には児童数が 60 人を下回り、10 年～15 年以内に複式学級が生じる見込みです。</p> <p>三方小学校は、2030 年度には 70 人程度、2035 年度には児童数が 50 人を下回る見込みです。</p> <p>複式学級が生じると見込まれる 10 年以降の姿を踏まえ、三方小学校と清滝小学校との再編について、適切な時期に地域と協議を始める必要があります。</p>																																																			
時期の 目 安	2031～2035 年度 （3～5 年後に再検討）																																																			
場 所	三方小学校を想定																																																			

学校名	用途	面 積 (㎡)	建築年	経過年数				備 考
				2020年	2030年	2040年	2045年	
三方小	校舎	3,153	1994	26	36	46	51	
	体育館	1,215	1994	26	36	46	51	
清滝小	校舎	2,526	1997	23	33	43	48	
	体育館	1,052	1985	35	45	55	60	

No.6 福住小学校、寺坂小学校の再編

児童数 学級数 見込み	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">2021年度</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福住小</td> <td>90</td> <td>6</td> <td>86</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>寺坂小</td> <td>27</td> <td>4</td> <td>21</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>117</td> <td>—</td> <td>107</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 学級数は、特別支援学級を除く。</p>	学校名	2021年度		2030年度		児童数	学級数	児童数	学級数	福住小	90	6	86	6	寺坂小	27	4	21	3	合計	117	—	107	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>15</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>16</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>19</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>23</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>107</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	学年	2030年度		児童数	学級数	1年	15	1	2年	17	1	3年	16	1	4年	17	1	5年	19	1	6年	23	1	合計	107	6
	学校名		2021年度		2030年度																																															
児童数		学級数	児童数	学級数																																																
福住小	90	6	86	6																																																
寺坂小	27	4	21	3																																																
合計	117	—	107	—																																																
学年	2030年度																																																			
	児童数	学級数																																																		
1年	15	1																																																		
2年	17	1																																																		
3年	16	1																																																		
4年	17	1																																																		
5年	19	1																																																		
6年	23	1																																																		
合計	107	6																																																		
学校間の距離		<table border="1"> <tr> <td>学校間距離</td> </tr> <tr> <td>福住小～寺坂小 3.8 km</td> </tr> <tr> <td>学校間移動時間(バス)</td> </tr> <tr> <td>約 12分 (20 km/h)</td> </tr> <tr> <td>最も遠い集落からの距離</td> </tr> <tr> <td>暮坂 ⇒ 寺坂小 10.6 km</td> </tr> <tr> <td>寺坂 ⇒ 福住小 5.0 km</td> </tr> </table>	学校間距離	福住小～寺坂小 3.8 km	学校間移動時間(バス)	約 12分 (20 km/h)	最も遠い集落からの距離	暮坂 ⇒ 寺坂小 10.6 km	寺坂 ⇒ 福住小 5.0 km																																											
学校間距離																																																				
福住小～寺坂小 3.8 km																																																				
学校間移動時間(バス)																																																				
約 12分 (20 km/h)																																																				
最も遠い集落からの距離																																																				
暮坂 ⇒ 寺坂小 10.6 km																																																				
寺坂 ⇒ 福住小 5.0 km																																																				
考え方	<p>寺坂小学校では、既に複式学級が生じていることから、早期の再編が必要です。</p> <p>寺坂小学校と福住小学校は、現在、小小連携教育を実施しています。また、両校は同じ旧室埴村内であり、歴史的なつながりがあります。</p> <p>出石地域での意見交換会では、「出石で小学校は1校に」との意見もありましたが、複式学級の解消を最優先にする必要があることから、寺坂小学校と福住小学校の再編を進める必要があります。</p> <p>出石地域全体での再編については、広く地域の意見を聞きながら、中長期的な視点で検討していく必要があると考えています。</p>																																																			
時期の目安	2024年度																																																			
場所	福住小学校を想定																																																			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」では、出石地域の幼稚園の再編・統合は併設小学校の再編に合わせて調整することとしている 将来的には出石地域全体での再編も検討 																																																			

学校名	用途	面積 (㎡)	建築年	経過年数				備考
				2020年	2030年	2040年	2045年	
福住小	校舎	1,952	1986	34	44	54	59	
	体育館	819	1986	34	44	54	59	
寺坂小	校舎	1,604	1984	36	46	56	61	
	体育館	680	1985	35	45	55	60	

No.7 小坂小学校、小野小学校の再編

児童数 学級数 見込み	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">2021年度</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小坂小</td> <td>89</td> <td>6</td> <td>63</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>小野小</td> <td>57</td> <td>6</td> <td>33</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>146</td> <td>—</td> <td>96</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 学級数は、特別支援学級を除く。</p>	学校名	2021年度		2030年度		児童数	学級数	児童数	学級数	小坂小	89	6	63	6	小野小	57	6	33	4	合計	146	—	96	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>13</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>14</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>15</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>19</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>18</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>96</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	学年	2030年度		児童数	学級数	1年	13	1	2年	14	1	3年	15	1	4年	17	1	5年	19	1	6年	18	1	合計	96	6
	学校名		2021年度		2030年度																																															
児童数		学級数	児童数	学級数																																																
小坂小	89	6	63	6																																																
小野小	57	6	33	4																																																
合計	146	—	96	—																																																
学年	2030年度																																																			
	児童数	学級数																																																		
1年	13	1																																																		
2年	14	1																																																		
3年	15	1																																																		
4年	17	1																																																		
5年	19	1																																																		
6年	18	1																																																		
合計	96	6																																																		
学校間の距離	 <p>出典：国土地理院地図</p>	<table border="1"> <tr> <td>学校間距離</td> </tr> <tr> <td>小坂小～小野小 4.1 km</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>学校間移動時間（バス）</td> </tr> <tr> <td>約 12 分 （20 km/h）</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>最も遠い集落からの距離</td> </tr> <tr> <td>片間 ⇒ 小野小 6.5 km</td> </tr> <tr> <td>奥小野 ⇒ 小坂小 7.0 km</td> </tr> </table>	学校間距離	小坂小～小野小 4.1 km	学校間移動時間（バス）	約 12 分 （20 km/h）	最も遠い集落からの距離	片間 ⇒ 小野小 6.5 km	奥小野 ⇒ 小坂小 7.0 km																																											
学校間距離																																																				
小坂小～小野小 4.1 km																																																				
学校間移動時間（バス）																																																				
約 12 分 （20 km/h）																																																				
最も遠い集落からの距離																																																				
片間 ⇒ 小野小 6.5 km																																																				
奥小野 ⇒ 小坂小 7.0 km																																																				
考え方	<p>小野小学校は、2025年に児童数が50人を下回り、この年の前後から複式学級が生じる見込みとしています。</p> <p>出石地域での意見交換会では、「出石で小学校は1校に」との意見もありましたが、複式学級の解消を最優先にする必要があることから、まずは小野小学校と小坂小学校の再編を進める必要があります。</p> <p>出石地域全体での再編については、広く地域の意見を聞きながら、中長期的な視点で検討していく必要があると考えています。</p>																																																			
時期の目安	2025年度																																																			
場所	小坂小学校を想定																																																			
その他	将来的には出石地域全体での再編も検討																																																			

学校名	用途	面積 (㎡)	建築年	経過年数				備考
				2020年	2030年	2040年	2045年	
小坂小	校舎	3,240	2002	18	28	38	43	
	体育館	1,101	2002	18	28	38	43	
小野小	校舎	1,911	1987	33	43	53	58	
	体育館	800	1987	33	43	53	58	

No.8 但東地域 施設一体型小中一貫校への再編

児童数 学級数 見込み	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">2021年度</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> <tr> <td>合橋小</td> <td>63</td> <td>6</td> <td rowspan="2">54</td> <td rowspan="2">6</td> </tr> <tr> <td>高橋小</td> <td>23</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>資母小</td> <td>60</td> <td>6</td> <td>37</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>146</td> <td>—</td> <td>91</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>(注) 学級数は、特別支援学級を除く。</p>	学校名	2021年度		2030年度		児童数	学級数	児童数	学級数	合橋小	63	6	54	6	高橋小	23	4	資母小	60	6	37	4	合計	146	—	91	—	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>12</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>15</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>14</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>14</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>14</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>22</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>91</td> <td>6</td> </tr> </table>	学年	2030年度		児童数	学級数	1年	12	1	2年	15	1	3年	14	1	4年	14	1	5年	14	1	6年	22	1	合計	91	6
	学校名		2021年度		2030年度																																																		
児童数		学級数	児童数	学級数																																																			
合橋小	63	6	54	6																																																			
高橋小	23	4																																																					
資母小	60	6	37	4																																																			
合計	146	—	91	—																																																			
学年	2030年度																																																						
	児童数	学級数																																																					
1年	12	1																																																					
2年	15	1																																																					
3年	14	1																																																					
4年	14	1																																																					
5年	14	1																																																					
6年	22	1																																																					
合計	91	6																																																					
学校間の距離		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">学校間距離 (但東中まで)</th> </tr> <tr> <td>合橋小</td> <td>2.1 km</td> </tr> <tr> <td>高橋小</td> <td>9.5 km</td> </tr> <tr> <td>資母小</td> <td>6.9 km</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">学校間移動時間(バス)</th> </tr> <tr> <td>高橋小 ⇒ 但東中</td> <td>約29分 (20 km/h)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">最も遠い集落からの距離</th> </tr> <tr> <td>大河内 ⇒ 但東中</td> <td>12.9 km</td> </tr> </table>	学校間距離 (但東中まで)		合橋小	2.1 km	高橋小	9.5 km	資母小	6.9 km	学校間移動時間(バス)		高橋小 ⇒ 但東中	約29分 (20 km/h)	最も遠い集落からの距離		大河内 ⇒ 但東中	12.9 km																																					
学校間距離 (但東中まで)																																																							
合橋小	2.1 km																																																						
高橋小	9.5 km																																																						
資母小	6.9 km																																																						
学校間移動時間(バス)																																																							
高橋小 ⇒ 但東中	約29分 (20 km/h)																																																						
最も遠い集落からの距離																																																							
大河内 ⇒ 但東中	12.9 km																																																						
考え方	<p>高橋小学校と高橋認定こども園は、2023年に合橋小学校と合橋認定こども園にそれぞれ統合する予定です。</p> <p>資母小学校は、2024～26年度に学級編制基準上では複式学級が生じ、2027年には2つの複式学級となる(1つは解消不可)見込みであることから、再編が必要です。</p> <p>但東中学校についても小規模化が進んでいますが、但東地域では、地理的要因等から小中学校とも、これ以上の再編は難しい状況にあります。</p> <p>このような中で、ある程度の集団規模を確保する方法として、施設一体型小中一貫校とすることがあげられます。これにより、現在進めている小中一貫教育をより一層実効性のあるものとする事ができます。</p> <p>また、「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」では3園を再編・統合するとしていることから、認定こども園も含めた整備とし、未就学児から中学生まで一貫した、但東地域の特色ある教育を目指します。</p>																																																						
時期の目安	2027年度																																																						
場所	但東中学校の敷地内に新たに小学校の校舎を整備(施設一体型小中一貫校) ※但東中学校の敷地内に園・小・中を配置する。																																																						

学校名	用途	面積 (㎡)	建築年	経過年数				備考
				2020年	2030年	2040年	2045年	
合橋小	校舎1	833	1989	31	41	51	56	
	校舎2	1,456	1989	31	41	51	56	
	体育館	973	1990	30	40	50	55	
資母小	校舎	2,580	1981	39	49	59	64	
	体育館	737	1981	39	49	59	64	
但東中	校舎	4,346	2003	17	27	37	42	
	体育館	1,815	2003	17	27	37	42	

(2) 中学校の再編

No.9 港中学校、城崎中学校の再編

生徒数 学級数 見込み	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">2021年度</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>生徒数</th> <th>学級数</th> <th>生徒数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>港中</td> <td>48</td> <td>3</td> <td>46</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>城崎中</td> <td>65</td> <td>3</td> <td>55</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>113</td> <td>—</td> <td>101</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 学級数は、特別支援学級を除く。</p>	学校名	2021年度		2030年度		生徒数	学級数	生徒数	学級数	港中	48	3	46	3	城崎中	65	3	55	3	合計	113	—	101	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>生徒数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>30</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>35</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>36</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>101</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	学年	2030年度		生徒数	学級数	1年	30	1	2年	35	1	3年	36	1	合計	101	3
	学校名		2021年度		2030年度																																						
生徒数		学級数	生徒数	学級数																																							
港中	48	3	46	3																																							
城崎中	65	3	55	3																																							
合計	113	—	101	—																																							
学年	2030年度																																										
	生徒数	学級数																																									
1年	30	1																																									
2年	35	1																																									
3年	36	1																																									
合計	101	3																																									
学校間の距離	<p>出典：国土地理院地図</p>	<table border="1"> <tr> <td>学校間距離</td> </tr> <tr> <td>港中～城崎中 4.3 km</td> </tr> <tr> <td>学校間移動時間（バス）</td> </tr> <tr> <td>約 13 分（20 km/h）</td> </tr> <tr> <td>最も遠い集落からの距離</td> </tr> <tr> <td>三原 ⇒ 城崎中 10.3 km</td> </tr> <tr> <td>二見 ⇒ 港中 9.9 km</td> </tr> </table>	学校間距離	港中～城崎中 4.3 km	学校間移動時間（バス）	約 13 分（20 km/h）	最も遠い集落からの距離	三原 ⇒ 城崎中 10.3 km	二見 ⇒ 港中 9.9 km																																		
学校間距離																																											
港中～城崎中 4.3 km																																											
学校間移動時間（バス）																																											
約 13 分（20 km/h）																																											
最も遠い集落からの距離																																											
三原 ⇒ 城崎中 10.3 km																																											
二見 ⇒ 港中 9.9 km																																											
考え方	<p>港中学校の2021年度の生徒数は48人で、その後も50人以下で推移する見込みであり、集団活動や部活動等、様々な面で課題が生じてきています。</p> <p>城崎中学校の2021年度の生徒数は65人、2030年度以降は60人以下で推移し、小規模化が進む見込みです。</p> <p>港中学校と城崎中学校については、旧市町域を越えるものの、距離が比較的近いこと等から、学校再編を進めていく必要があります。</p>																																										
時期の目安	2028年度																																										
場所	城崎中学校を想定																																										
その他	城崎小学校と港小学校の再編後の姿も見据えた検討が必要である																																										

学校名	用途	面積 (㎡)	建築年	経過年数				備考
				2020年	2030年	2040年	2045年	
港中	校舎1	1,679	1962	58	68	78	83	耐震
	校舎2	987	1962	58	68	78	83	耐震
	体育館	831	1963	57	67	77	82	耐震
城崎中	校舎	3,898	1995	25	35	45	50	
	体育館	1,309	1984	36	46	56	61	

第7章 学校再編にあたって配慮すべき事項への対応

学校再編によって、集団規模が確保できることにより、より良い教育環境が得られるという反面、環境が大きく変わること等への配慮が必要となります。

このことから、本市では、学校、保護者、地域等と連携を取り合い、不安や負担の軽減に努めることとしています。（下記はその一例）

1 児童生徒への配慮

学校再編にあたって、児童生徒の環境が大きく変化することから、子どもたちの不安を理解し、取り除いていくことが必要です。

新たな学校生活に早期になじめるよう、次のような取組を行います。

(1) 子どもたちへの理解と心のケア

ア 学校再編により新しくできるようになること、友だちが増えることなどの楽しみを広げるとともに、不安解消に努めます。

イ 定期的なアンケートの実施等により、子どもたちにとって楽しみなこと、不安なこと等を把握しながら、心のケアにつなげます。

ウ 相談しやすい体制づくりを行います。

(2) 学校間交流

ア 統合前から学校間の合同授業や行事等の交流事業を計画的に実施し、児童生徒が溶け込みやすくなるような環境づくりを進めます。

イ 児童生徒とともに保護者の交流も進められるよう、PTA などを通じて働きかけます。

(3) 教員の統合加配制度の活用

学校を統合した場合、定数以上の教員数を配置することができます。この制度を活用し、以前いた学校の先生を統合後の学校に配置し、顔なじみの先生がいることにより安心感が得られるよう配慮します。

(4) 特別支援教育への対応

学校再編により、特別支援学級も集約されることとなります。教員の配置を含め個々の特性に寄り添った対応が図れるよう環境を整えます。

2 通学への配慮

再編により、通学方法が変わることや通学時間が長くなることは、子どもたちにとって大きな不安・負担につながります。子どもたちが少しでも安全・安心に通うことができるよう、次のような取組を行います。

(1) 通学路の安全確保

- ア 再編等による通学路の変更に伴う危険箇所の再点検を行い、通学の安全対策に努めます。
- イ 地域の見守りボランティア等の協力により、引続き児童生徒の安全の確保に努めます。

(2) 遠距離通学者に対する通学支援

- ア 再編に伴い新たに遠距離通学となる児童生徒については、負担軽減や安全面等に配慮しながら、通学バスの運行方法を検討します。
- イ 事前に通学バス訓練を実施し、不安の解消や課題の把握に努めます。

参考 豊岡市バス通学補助認可基準

小学校 片道3km以上

中学校 片道6km以上

ただし、通学路の安全性（歩道の整備状況等）により、検討が必要と認められる場合は、バス通学補助認可審査委員会において協議を行う。

3 放課後児童クラブ利用者への配慮

放課後児童クラブは、子どもたちの安全性の確保の観点から、小学校施設内又は隣接地での設置を基本としていますが、再編により学校が遠方になることにより、①保護者の勤務先からの迎えの時間に支障が生じる、②児童の帰宅時間が遅くなり、生活リズムに悪影響が生じる等が想定される場合等については、負担軽減の方法について検討を行います。

4 地域活動の拠点としての活用（学校の跡地利用）

学校再編により、小中学校の校区が拡大しても、児童生徒の居住地である地域との交流や連携の重要性は変わらないものであり、現在行われている地域のコミュニティ活動の単位をくずさないよう配慮することが必要であると考えます。

本市の方針として、学校の跡地利用については、行政等で活用する場合を除き、基本的には民間事業者等による利活用を基本としていますが、その際には、地域での利用希望等も考慮し、利用希望事業者等と協議を行うこととしています。

また、活用が決まるまでの間の跡地については、引き続き地域での利用ができるよう、地域と協議することとしています。

第8章 特色ある学校づくり（協働による学校づくり）

学校再編は、単に子どもたちの集団規模を確保することだけを目的としたものではなく、次のような観点で魅力のある学校づくりを進めます。

1 多様な学びと新たな体験

人数が増えることによって可能となる様々な学習体系や、これまでにできなかった体験ができるような学びの環境づくりを、学校ごとに検討し進めていきます。

2 地域との連携強化

地域にとっても魅力（夢）のある学校とするため、その地域ではどのような子どもを育てようとしているのか、子どもたちに受け継いでいきたいことは何か等、学校と地域が一緒になって考え、地域コミュニティとの連携強化を中心として、地域学校協働活動※7の充実や、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）※8の検討等、それぞれの地域にあった協働の仕組みづくりを進めます。

※7 地域学校協働活動

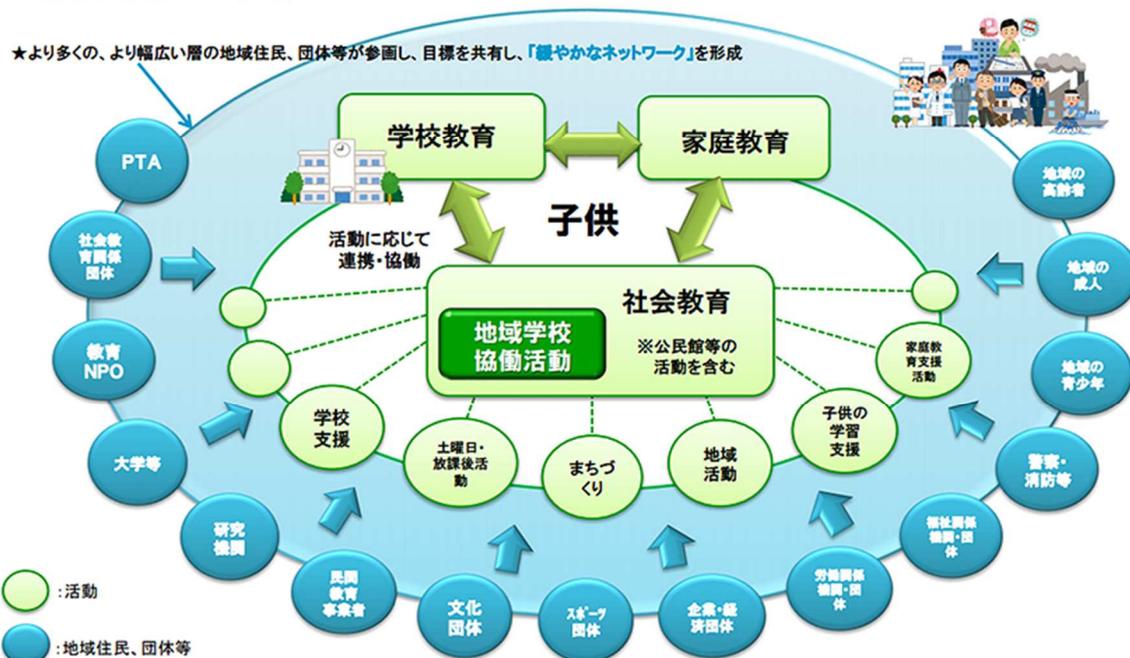
地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、民間非営利団体(NPO)、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」をめざして、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行なうものです。

例えば、子供たちが地域に出て郷土学習を行ったり、地域住民とともに地域課題を解決したり、地域の行事に参画してともに地域づくりに関わるといった活動が挙げられます。

出典 文部科学省ホームページより

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

- ◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- ◎ 従来の地縁団体だけではない、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。



※8 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参画できるようにする仕組みや考え方を有する形態の学校のことをコミュニティ・スクールといいます。学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めるためのものです。

出典 文部科学省ホームページより

